

2018年8月8日

ASEAN設立51周年記念シンポジウム

パネル報告

「ASEAN経済統合の意義と課題」

**ASEAN Economic Integration: Its Significance
and Issues**

清水一史(九州大学)

Kazushi Shimizu (Kyushu University)

shimizu@econ.kyushu-u.ac.jp

ASEANは東アジア経済統合の代表

- 設立50周年を迎え、東アジアで最も古くからの地域統合
- 世界経済の変化の中で経済統合を進め、AEC創設
 - ①ASEAN経済統合は関税撤廃など着実な成果
 - ②生産ネットワーク構築を支援
 - ③東アジア経済統合においても中心：RCEP
- ASEANは現代の経済統合の最重要な例
 - グローバル化を続ける世界経済の中でAEC創設
 - 世界の成長センターの東アジアで経済統合を牽引
- 日本と日本企業にとっても最重要な経済統合

50年のASEAN経済統合とAEC創設

■ 世界(政治)経済の構造変化とASEAN経済統合

- 世界経済の構造変化の中で経済統合を推進
- ①プラザ合意以降の変化、②冷戦構造の変化、③アジア経済危機後の変化、④世界金融危機後の変化を受けて、経済統合を推進。

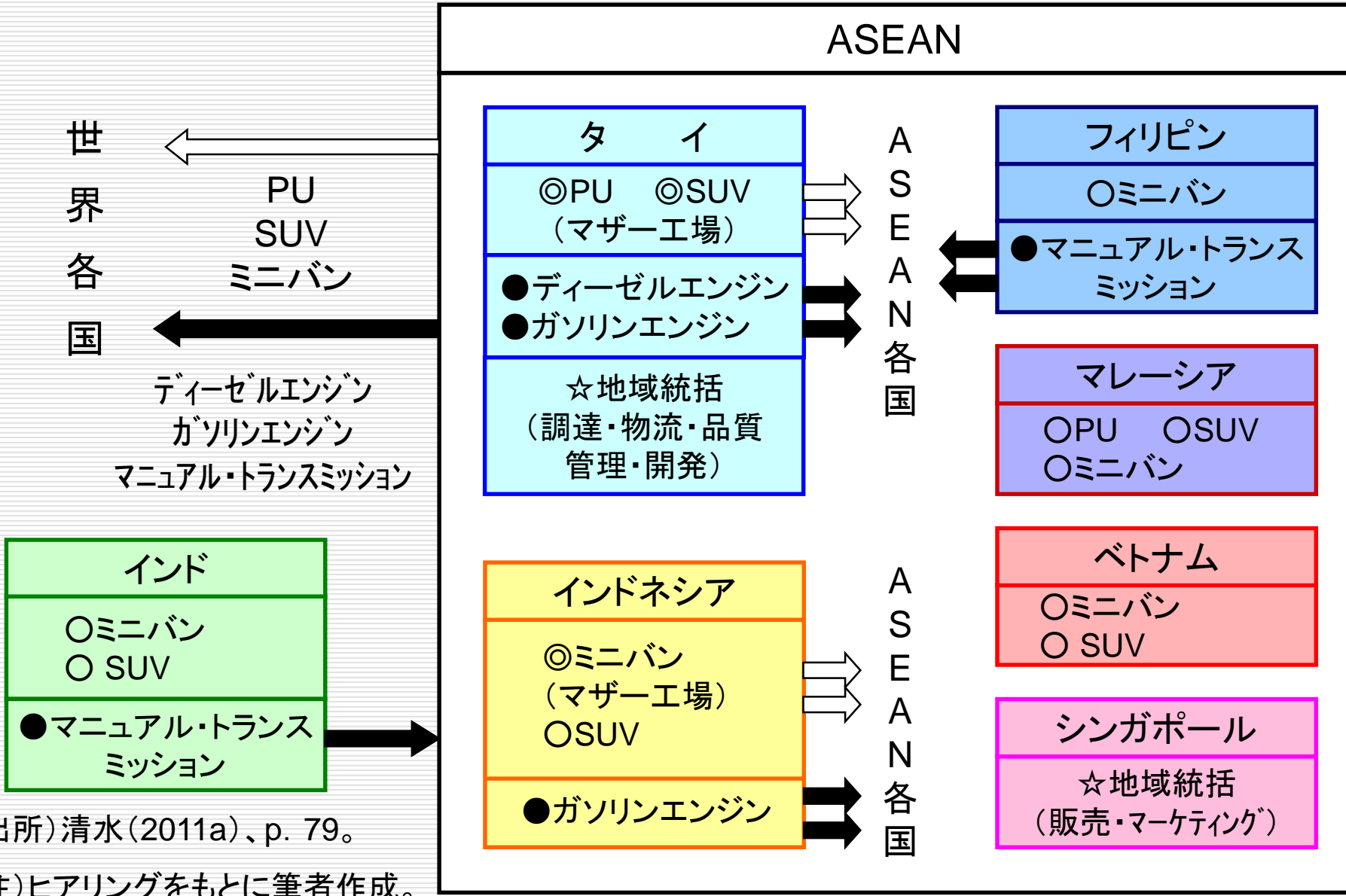
■ 2015年末にAEC創設

- 関税の撤廃(AFTAの完成)等:長期で見ると大きな成果。特に関税の撤廃は大きな成果:約96%の自由化率(日本のEPAは80%台後半)。
- 更にサービス、投資、熟練労働力の移動自由化へ。
- インフラ整備や格差是正へ。

経済統合が国際分業と生産ネットワークを支援 : 日本企業が経済統合政策を利用

- 自動車産業が典型: 自動車部品補完計画は最も早くから着実に実践
- ASEANでは日系自動車のシェアがきわめて大きくネットワーク構築
- BBCスキーム(1988)、AICOスキーム(1996)、AFTA(1992)に支援されて、トヨタ自動車などがASEAN域内で主要部品の集中生産と部品の相互補完。
- トヨタ自動車のIMVの例(2004年から)
 - 1トンピックアップトラックベース車を部品調達から生産と輸出まで各地域内で対応するプロジェクト
 - 1次部品メーカー、2次・3次部品メーカー、素材メーカーをも含め重層的な部品補完・生産ネットワークを拡大
 - (AICOと)AFTAが支援
- ASEAN経済統合と企業の生産ネットワーク構築の合致であり、大きな成果

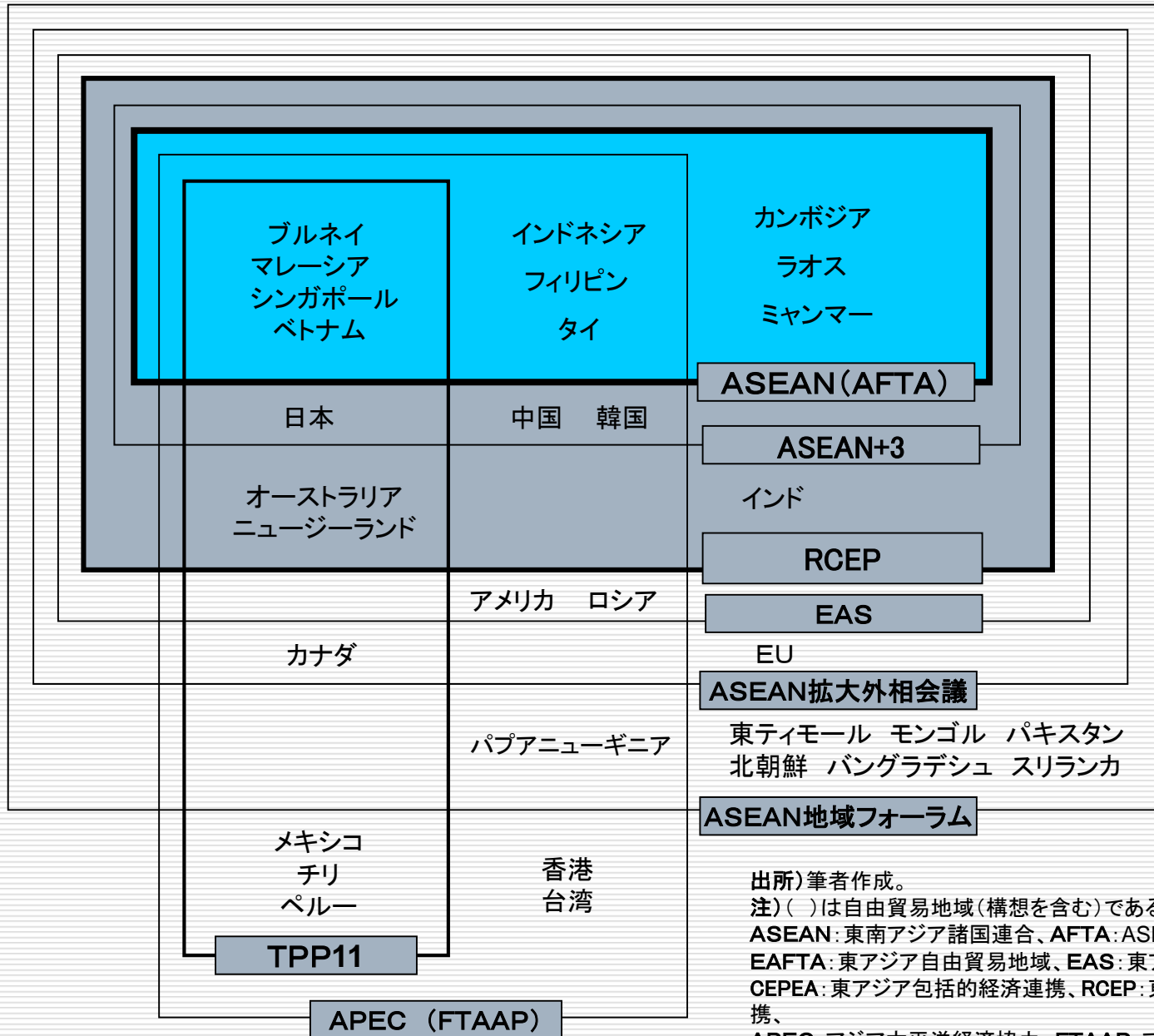
トヨタ自動車IMVの主要な自動車・部品補完の概念図



(出所) 清水(2011a)、p. 79。

(注) ヒアリングをもとに筆者作成。

ASEANを中心とする東アジア地域協力とRCEP



出所) 筆者作成。

注) () は自由貿易地域 (構想を含む) である。

ASEAN: 東南アジア諸国連合、AFTA: ASEAN自由貿易地域、

EAFTA: 東アジア自由貿易地域、EAS: 東アジア首脳会議、

CEPEA: 東アジア包括的経済連携、RCEP: 東アジア地域包括的経済連携、

APEC: アジア太平洋経済協力、FTAAP: アジア太平洋自由貿易圏、

TPP11: 正式にはCPTPP・包括的及び先進的な環太平洋経済連携協定

2025年へ向けての目標 「AECブループリント2025」

- 「A. 高度に統合され結合した経済」
 - ①物品貿易、②サービス貿易、③投資環境、④金融統合、金融包摂、金融の安定、⑤熟練労働とビジネス訪問者の移動促進、⑥グローバル・バリュー・チェーンへの参画強化
- 「B. 競争力のある革新的でダイナミックなASEAN」
- 「C. 強化されたコネクティビティーと分野別統合」
- 「D. 強靱で包括的、人間本位・人間中心のASEAN」
- 「E. グローバルASEAN」

- AEC2015の延長に、貿易円滑化、サービス・投資・熟練労働の移動自由化、インフラ整備や格差是正、新たな課題。

AEC2025の実施と ASEAN経済統合の課題

- 2017年2月「AEC2025統合戦略的行動計画(CSAP)」
 - AEC2025の主要分野の具体的な計画
 - 「ASEAN連結性マスタープラン(MPAC)2025」、「ASEAN統合イニシアチブ(IAI)作業計画Ⅲ」も、AEC2025を構成

 - 2018年1月1日AFTA完成:CLMVの7%猶予品目も撤廃
 - ベトナムも自動車関税を撤廃(ただし非関税障壁を設定)
 - 関税撤廃を完成し、更に多くの分野・新たな分野の統合深化へ

 - ASEANは、現代世界経済の下での発展のためにAECを深化
 - ASEANは、東アジア経済統合においてイニシアチブを確保
 - 日本とASEANは、協力して現在の保護主義へ対抗
-

ご清聴ありがとうございました

Thank you very much for your attention!

【参考文献】

- 石川幸一・清水一史・助川成也編『ASEAN経済共同体の創設と日本』文眞堂、2016年11月。
- 清水一史「ASEAN経済統合とランプショック」、『世界経済評論』第61巻第5号、2017年9月。
- 清水一史「RCEP交渉の行方(上)」、『日本経済新聞』(経済教室)、2018年6月20日号。

(参考)

2015年末のAECの創設(1)

- AECの4つの戦略目標(統合の深化と格差是正)
- 「A.単一市場と生産基地」:
 - ①物品の自由な移動
 - 関税の撤廃は、AFTAとともにほぼ実現(◎) :
 - 2015年1月1日全加盟国の関税撤廃割合は、95.99%
 - 尚、CLMV諸国は、品目の7%までは2018年1月1日まで撤廃猶予
 - 原産地規則も改良(O)。ASEANシングルウィンドウも進展(Δ)
 - しかし、非関税措置の撤廃は、2016年以降の課題(X)
 - ②サービスの移動(O)、③投資(O)、④資本の移動(O)、⑤熟練労働者の移動(Δ)は、徐々に。

(参考)

2015年末のAECの創設(2)

- 「A.単一の市場と生産基地(戦略目標の中心)」
 - ①物品の自由な移動 関税の撤廃◎
 - ①'物品の自由な移動 非関税障壁の撤廃×
 - ②サービスの自由な移動○
 - ③投資の自由な移動○
 - ④資本の自由な移動○
 - ⑤熟練労働者の自由な移動△

(参考)

2015年末のAECの創設(3)

□ 「B.競争力のある経済地域」(○)

□ 「C.公平な経済発展」(○)

- 輸送プロジェクト、エネルギープロジェクト、経済格差の是正、知的財産における協力の進展

□ 「D.グローバルな経済統合」(◎)

- ASEAN+1の整備やRCEP交渉の進展:当初予想よりも達成。

□ 2015年12月31日は重要な通過点

□ 次のAECの目標は、2025年:「AEC2025」
